



工事部 次長 **佐藤 大祐**



2025年、3社の統合により新たなスタートを切ったさくら株式会社。組織拡大に伴い、現場には異なる個性が混在し始めている。かつて一企業の代表を務めた佐藤大祐は、調整役として現場と経営陣の間を奔走中だ。佐藤を動かすそのモチベーションの源泉と、未来への決意に迫る。

### 個性の違いを認め、1つの方向へ導く

さくら株式会社、株式会社三和鋼産、株式会社ユニー、3社の統合は会社としての規模拡大をもたらした一方で、出身母体の違いによる社員間の戸惑いも生んでいた。これまで培ってきた文化や考え方は人それぞれ異なる現状を、佐藤は冷静に見つめている。

「統合によって人が増え、それぞれ考え方が違う者同士が集まっています。それをいかに同じ方向に向かせるかが、現在の課題です」。無理に1つにまとめようとするのではなく、まずは違いを受け止めることからはじめた佐藤。現場作業の合間や休憩時間に個別の対話を重ね、出張に対する抵抗感や将来のビジョンなどを聞き出していく。会社としてすべての要望を叶えられるわけではないが、できることとできないことを明確に伝える。自身の意見を押し付けず、互いの接点を模索する日々だ。

### 現場の声が形になった、作業着の刷新

佐藤が現場の声を拾い上げ、会社を動かした事例がある。統合後に支給された新しい作業着に対し、現場からは生地が硬く動きにくいという不満が上がっていた。しゃがむたびに突っ張るズボン、日々の作業効率を落とすだけでなく、職人たちのストレスを蓄積させていた。現場の空気を察知した佐藤は、これを単なる不満として処理せず、解決へと動く。

「要望を通すには、理由を明確に示す必要がある。経営陣が納得できなければ、組織は動きません」。佐藤は、なぜ変える必要があるのかという根拠と共に、三和鋼産時代に着用していた機能性の高いモデルを代案として提示した。サンプルを取り寄せ、実際に着心地

を確かめてもらうプロセスも踏んだことで、変更案は見事採用された。現場からは「前よりずっと良くなった」と安堵の声が漏れる。単に服が変わっただけでなく、自分たちの意見が尊重されたという実感こそが、現場の士気を高める大なきっかけとなった。

### 信じてついてきてくれた仲間と守りたい生活

佐藤が現場の環境改善にこだわった背景には、三和鋼産の前身である株式会社新栄で代表を務めていた経歴がある。さくら株式会社に入社する際、約10人の職人を引き連れて合流した。

「ついてきてくれた仲間たちのスキルが上がるのが何より嬉しい。彼らが評価されたときに、自

分自身もやりがいを感じるのです」。以前の環境では休みも少なく生活が不安定だったが、現在は有給休暇もしっかり取得でき、仲間たちの生活は安定している。彼らが安心して働ける環境を守ること、そして同じ経営者として悩みを共有できた高橋和義社長への信頼が、佐藤を突き動かす原動力だ。

### 「配管屋」の枠を超え、自走する組織へ

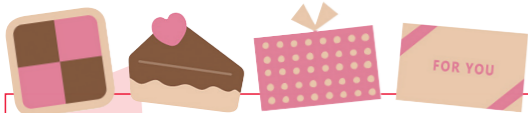
現在、さくらは配管屋としてのイメージが強いが、佐藤は三和鋼産やユニー出身者が持つ多様な技術を融合させ、より広い分野で活躍できる集団を目指している。

『社長の会社』ではなく、社員全員で会社に命を吹き込んで稼働させていきたいと思っています。カリスマ性のある社長に依存す

るのではなく、社員一人ひとりが主体的に動き、困難を乗り越えられる強さを持つこと。それが佐藤の描く未来図だ。調整役としての役割は容易ではない。しかし、仲間がのびのびと働き、組織が1つになっていく過程を見届けることが、佐藤にとっての最大のやりがいになっている。自ら道を切り拓いていくその姿勢は、さくらグループで働く多くの仲間たちの道標になるだろう。

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商（さくら株式会社）：12.8億円  
年商（さくらグループ全体）：17.2億円  
※ 2025年3月決算時点



# ガツときた! あの人からの アドバイス



工事部1課 係長  
いわい しょういち  
**岩井 翔一さん**

## 当時の心境

ずっと「そんなことはないのになあ、どうすることもできないしなあ」とコンプレックスに感じていましたが、皆さんからこの言葉をいただくようになり、気持ちが前向きになりました。

## 心に残っている言葉

「翔一の良いところは見た目に反して話しやすく、そして人から愛されるキャラだよなあ! そしていろんな人に助けられてるよなあ!」

社長や専務をはじめ、さまざまな方にこの言葉をかけてもらえるようになったのは2年前からだと思います。私は第一印象が良くないのか、どこで誰に会っても怖い人だと思われていたようです……。

## その後の行動の変化

根本的な部分を変えることはできませんが、ギャップを活かしてポジティブに考えることにしています。

## 心に残っている言葉

「仕事の人員の配置、流れはデートと同じだ。仕事もデートもまずプランを考える。そこからどう自分のプラン通りに進めていくか考え、行動していく。仕事もデートも同じこと」

2025年、作業員の動かし方などに悩み仕事を効率良く進められず困っていたとき、八巻さんからいただいた言葉です。

## 当時の心境

この言葉をかけていただき、仕事のことをプライベートに置き換えて考えると非常にわかりやすいことに気がつきました。

## その後の行動の変化

一日一日、仕事内容によって人員をどこにどのよう配置すれば良いか。人員配置の考え方を以前よりレベルアップできたと思います。



製造部 係長  
はやさか たかひろ  
**早坂 貴洋さん**

# 〇〇さん大解剖!

今回は製造部の大滝康平さんの仕事とはひと味違う人柄の部分をご紹介します。穏やかな性格の裏にある意外な一面や、学生時代のユニークな進路選択、ご家族との将来の夢について語っていただきました!



おおたき こうへい  
製造部 **大滝 康平さん**

誕生日 1998年10月17日生まれ  
出身地 宮城県仙台市  
好きな食べ物 寿司(特に貝類)

## 最近のMYニュース

紅白歌合戦の「Mrs. GREEN APPLE」に感動

2025年末の紅白歌合戦で「Mrs. GREEN APPLE」のステージを観たことです。普段のライブ映像とは違って、紅白ならではの「お祭り感」があって、メンバーの皆さんもいつもより楽しそうに見えました。日頃から音楽をよく聴いており、昭和の歌手も知っていたため、番組全体を通して楽しめました。

## 人生で一度は やってみたいこと

運転免許証の「種類」の欄をすべて網羅

5年ほど前に大型バイクの免許を取りました。今は事情があって手放してしまいましたが、実家にいる父も母もバイク好き。父とは一緒にツーリングに行ったことがあり、母も中型免許を持っていて乗っています。将来的にはまた大型バイクを手に入れて、両親と一緒に家族でツーリングに行けたらいいなと思っています。

## 実は私…… 激辛好きなんです

唐辛子系の辛さが特に好きで、セブン-イレブンで販売されている「蒙古タンメン中本」のカップ麺などを頻繁に食べています。刺激が強いものでも平気で食べられます。

## 人生のターニングポイント 進路を決めるタイミングに 『宇宙兄弟』という作品を読んだこと

将来やりたいことが決まっていっていませんでしたが、進路を決める時期に漫画の『宇宙兄弟』を読んで感銘を受けました。そこからの夢は「宇宙飛行士」……正確には少し違った夢を目指すことになりました。それは「宇宙でお米を作りたい」という夢でした。その夢を叶えるために、進学先を農業高校に決めました。結果的に今は違う道歩んでいますが、間違いなく人生の分岐点だったと思います。あのとき『宇宙兄弟』に出会っていなければ、その当時や今も全く違う、小さい頃に憧れていた消防士を目指していたかもしれません。

